

2023（令和5）年度 第8回 高井戸小学校運営協議会 議事録

日時・場所： 2024（令和6）年03月02日（土）11:00～・高井戸小学校校長室

参加者： 鬼澤（会長）、廣野、山田（事務局）

青木、蘆塚、伊勢、下河、内藤、蕨南、和田（委員）

敬称略・所属・五十音順

欠席： 秋山、望月

議事録担当： 和田

以下、[] は発言者を表す。

1. 会長挨拶 [鬼澤]

- 先月の拡大CSでは、各校CSとの情報共有ができたと思う。毎年、別途開催されている会長の連絡会なども併せ、今後も各校共通課題や他校の事例等を持ち帰り、高井戸小学校の運営に生かしていきたい。
- 本日は次年度に向けて、いろいろな角度から皆さんのご意見をいただきたい。

2. 学校長より [伊勢]

- 学校を応援してくださる皆さんの存在をありがたく感じる1年だった。
- 悲しい事故を二度と絶対に起こさないという地域・学校の願いを込め、事故を風化させないための具体的なアクションを本年度内に行う。
 - 高井戸町会連合会で、啓発フライヤーを13の町会内で配布することが承認された。年度末にかけて、1000部程度を地域の方々へ配布する予定。
 - PTA運営委員会では、地域事業所に個別訪問してフライヤーを配布することが承認された。こちらも年度内に実施する。

3. 次年度に向けて（主に教育課程関連）

- 前回配布した「令和6年度 教育課程」について、皆さんのアイデアを寄せていただきたい。次年度は主に、①歴史と伝統を大事に、未来を担う子どもを育む、②問題解決型の探究学習を中心に、自分の考えで何かを作っていく力を培っていく、③教員の授業力を上げていく、④個別最適化によって誰一人としてとり残さない学びの環境や体制を作る、といった部分に力点を置いている。[伊勢]
 - 次年度教育課程の内容には非常に賛同している。これを実現するに十分な数の人をどう確保するか。支援本部でも人集めに苦勞しており、CSのみ皆さんのアイデアを伺いたい。[和田]
 - 都教委がTEPROという公立学校を支援するための人材バンクを運営している。いろいろな方が登録されており、人を探す裾野は広がった。その反面、現場ニーズにマッチするか、安全性はどうかといった観点では、課題が残る印象もある。[廣野]
 - 今年度も教員課程履修中の高井戸小学校卒業生がボランティアとして参画してくれている。その方たちの横のつながりを活用していくのも有効な案と考える。[伊勢]
 - 母校の支援活動に参加したくなるような経験を、小学校・中学校時代に子どもたちが得られるようにしていくことも重要だと思う。現在、ファミリー会では、中学生となった卒業生が大きな役割を果たしている。卒業生をネットワークとして維持していくのは難しいことだが、これを何とか保持できると長期的なサイクルが生まれるのではないか。[蕨南]
 - 小学校で共創・共生を意識した授業や環境での学びを得ても、ともすれば中学校での個人競争で上書きされてしまう感がある。しかし、ファミリー会の活動を通じて、高井戸小学校の環境に「いつでも戻ってこられる」と感じられることが、我が子には貴重な機会になっていると思う。[下河]
- 1人1台タブレットの活用をさらに推進していく。個別最適化の学びはもちろんのこと、例えばロイロ

ノート等を使ってクラスメイトの考えを見ながら一緒に考えるという授業は、区が教育ビジョンとして掲げる「共に生きる」に、まさに直結するものだと感じている。[廣野]

→ ロイロノートを使った授業を見てみたい。多様性を認め、他の人がどのような考えを持っているのかを知り、それを自分に取り入れていくことは重要。同じものを見ても、見え方は人それぞれであるということを、子どもたちが授業の中でどのように体験していくのかに興味がある [蘆塚]

→ 是非、ご参加をお願いしたい [廣野]

- 学校生活において、子どもたちが自己選択をしていくシーンは確実に増えている。自己選択と「わがまま勝手を通すこととは違う」ということを併せて学べるように心がける。「共に生きる」の実現には、自己選択と自己調整の二つが同時に必要であることを、子どもたちがより深く学べる内容と環境を提供していきたい。[山田]
- 地域安全について。大人にとっても子どもにとっても、目と目を合わせる間合い・関係性がとても大事だと思う。コミュニケーションをとった相手がどのような目をしているかを感じられるようになる教育が、地域安全にも繋がっていくと考える。[内藤]
- 拡大CSに参加したフィードバックとして。[青木]
 - ① 他校でも教育課程の学生ボランティアの協力を得ているが、なおやはり人手不足。これは各校共通の課題だろう。
 - ② 高井戸小CSにおいても一般教職員の意見を伺う機会を作れると、「先生方が子どもたちと関わるより良い環境とはどのようなものか」を考える一助となるのではないか。
 - ③ CSメンバーの年齢・性別多様性も向上していければ、さらに様々なアイデアが生まれるのではないか。
- 小学校の6年間は、子どもたちが人の懐の深さや暖かさを感じ取る力を育む貴重な時間。この時期の子どもたちの環境に我々CSが関われるという事実は、高井戸地域を愛し、そこに戻ってくる子どもたちを育むという希望にも繋がっている。[鬼澤]

→ 150周年を、子どもたちや地域の人々が「高井戸小学校はふるさとなのだ」と再認識する機会にしたい。もし、何か企画があれば、校長までお寄せいただきたい。[伊勢]

4. 次年度に向けて（校舎増築、教室配置関連）[山田]

- ジャンブルジム近くに2つの鉄棒が増えた。
- 線路側バルコニーの安全対策工事が始まった。春休み中にネットをかけ終わる予定。
- 教室配置計画を検討中。1年生が4クラスの場合と5クラスの場合それぞれについて、増築工事中と終了後の教室配置パターンを考えている。1年生が5クラスになった場合には、区の特例許可を受け、現在の高学年少年人数算数スペースをクラス教室として利用する可能性がある（工事中のみ）。
- 2学期を早めに切り上げ、12月23日に引っ越し作業をする予定。ただし、外溝工事が入るので、校庭バリケードが取れるのは1月以降になりそうな見込み。

5. その他

- 次年度CS実施計画案（日程等）について、まだ変更が可能なので、ご意見・ご要望があればお知らせいただきたい。[山田]
- 区教委から依頼のあった「学校運営協議会に関するアンケート」について、各自ご回答をお願いしたい。回答期限は2024年3月31日。[廣野]
- 次年度から150周年の準備が本格化する。円滑な情報共有のために、協議会メンバーのLINEグループを作りたい。ご賛同いただければ、4月の協議会の際に登録できるように準備する [鬼澤]
- 区の学校メール配信システム（「すぐメール」）が今年度いっぱいまで廃止となり、次年度からは新たなシステムに代わる。4月には、こちらにもご登録いただきたい。[廣野]

6. 事務連絡

- 次回の協議会は4月6日(土)の入学式後、11時より開催。[山田]
- 入学式を欠席の場合は、副校長まで連絡を。[廣野]

以上